

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事後評価)

課題名「耐久性能評価に基づく建築部材仕様選定システムのプロトタイプ開発」

1. 主な所見

- ・ 所見 : 本課題は、建築生産に当たっての性能提示を可能にする仕上材の選定システムの基本的な枠組みを示したものであり、今後も継続することにより、更なる発展が期待できる。
- ・ 所見 : 新設工事とリフォーム工事における耐久性能評価の違いが欲しい。新築に対する材料設計とは異なった要素を有し、特に最も不安定な要素として、既存劣化材料との組み合わせにおいて、新設時における耐久性能が発揮するとはいえず、その影響に対する評価が必要と考える。
- ・ 所見 : プロトタイプとして公にされることはきわめて重要で、そこから選択の範囲を広げられるような視点の広い展開を期待したい。成果の発表は今後積極的に行われることを期待したい。とくに耐久設計の筋道への展開は実務を通してよりエキスパートジャッジを残しつつ展開されることが重要と思われる。
- ・ 所見 : 鉄筋コンクリート部材について、指定した条件における耐久性能項目ごとの仕様例を示し、耐久設計の支援を行うシステムの基本を構築することについて、その目的はほぼ達成されたと考えられる。本システムでは、各耐久性能項目間の関連や相乗効果を考慮した設計仕様については対応がなされていない部分があるように思われることから、この点の技術の向上が期待される。また、本システムが、新設建築物への支援のみならず、既存建築物の延命設計にも利用できるようになるならば、さらに利用度の高いシステムとなると期待される。

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 に対する回答 :
御指摘に従い、今後、現在取り組んでいる課題(「ユーザー要望及び社会ニーズに対応した目的別改善改修技術の開発」)等で、継続的に検討を行っていきたいと考えている。
- ・ 所見 に対する回答
本課題では、新築を対象としていたため、既存建築物については、現在取り組んでいる課題(同上)等で、本成果を発展させ、検討をしていきたいと考えている。
- ・ 所見 に対する回答
御意見の通り、今後、成果の発表を積極的に行っていきたいと考えている。
- ・ 所見 に対する回答
各耐久性能項目間の項目や相乗効果については、御指摘の通りであり、今後の課題としたい。また、既存建築物については、現在取り組んでいる課題(同上)等で、本成果を発展させ、検討をしていきたいと考えている。